

役員・会員・寄付者一覧

■役員

理事長	中村 順子	
副理事長	星野 裕志	九州大学大学院 経済学研究院教授
理事	足立 勝	株式会社神戸介護ケアウィング代表取締役
	佐藤 友美子	追手門学院大学地域創造学部教授
	小室 邦夫	ヒューマンスキル研究所 主宰
	當間 克雄	兵庫県立大学 経営学部教授
	飛田 敦子	認定NPO法人CS神戸 事務局長
監事	金芳 外城雄	NPO法人神戸の絆2005 専務理事
	奥村 一人	元 株式会社トーホー取締役

※松下忠義(監事)、坂本 登(相談役)は2018年度末で退職退任しました。

■会員一覧(順不同・敬称略)

正会員(19名) 足立 勝/岡本 仁宏/金芳 外城雄/小室 邦夫/坂本 登/佐藤 友美子/立田 英雄
當間 克雄/中村 順子/長谷川 京子/飛田 敦子/藤原 和男/星野 裕志/松下 忠義
朴木 佳緒留/青山 ゆみこ/池田 拓也/尾花 弘教/川島 龍一

賛助会員・個人(84名) 中山 照彦/中村 保佑/神田 典治/山本 好克/端 信行/大西 洋助/大久保和雄
山内 延浩/川島 悦子/広井 かほる/兵頭 修也/長岡 聖美/檜垣 忠/大黒 洋一
平野 久美/吉本 隆光/梶原 靖子/石尾 陽一/稲田 薫/井上 隆文/新庄 達也
西田 幸夫/森 功/藁科 秀雄/四宮 一夫/増金 祐次/北川 浩二/尾山 宗久/遠田 豊成
原 祥隆/上田 弘/赤須 治郎/岡田 雅幸/河村 ゆき江/細見 典子/大谷 敏行
氏家 都子/村戸 靖男/富田 妙子/大西 佐知子/津田 久雄/安元 邦夫/畑中 進
更谷 令治/日下 恵子/岡部 記代子/朝山 日出夫/伊谷 須美子/浜田 宏樹/子川 幹男
樋口 孝子/興口 修/龍田 昇/有友 ひとみ/江口 聰/尼川 洋子/大野 利恵/直田 春夫
長澤 マリ/村上 義弘/林 祐介/重政 和洋/林 律子/松元 隆平/島田 誠/宮下 隆二
鷹濱 百合枝/西村 尚士/菅 祥明/井手口 誠/小林 清隆/神野 順子/小林 義徳
朴 徹雄/平田 富士男/福嶋 正次/植戸 貴子/森田 正純/務川 悦孝/蒲田 尚史
大和 三重/古結 洋子/上野 恭男/匿名1名

賛助会員・団体(13団体) カタオカネットワーク/医療法人明倫会 宮地病院/一般社団法人 クルレ
ヒューマンスキル研究所/株式会社神戸サンソ/NPO法人 福祉ネットワーク西須磨だんらん
NPO法人ジンジャー・クラブ/NPO法人 阪神パソコネット
一般社団法人こうべ家族信託サポートセンター/NPO法人インクルひろば
株式会社ロックフィールド/NPO法人薫風/株式会社まんぼう

■寄付者一覧(順不同・敬称略)

企業・団体(7団体) 大和リース株式会社/有限会社 神輝興産/株式会社シカタ/商船港運株式会社
日本郵船株式会社/婚活せわやき隊/KOBEカード協議会

個人(22名) 河村 ゆき江/島田 誠/落合 弘/嶋田 征彦/久米 路子/法貴 永治/朴 京守/定免 久美子
佐藤 博史/尾花 弘教/小林 義徳/福田 眞理子/小林 清隆/福田 菊/中村 順子/小室 邦夫/足立 勝
飛田 敦子/向山 良子/人羅 亜矢子/匿名2名



認定NPO法人コミュニティ・サポートセンター神戸(CS神戸)

〒658-0058 神戸市東灘区住吉東町5-2-2 ビュータワー住吉館104

TEL.078-841-0310 FAX.078-841-0312

E-mail : office@cskobe.com URL : http://www.cskobe.com



2018 ANNUAL REPORT

—— 2018年度事業報告書 ——

ご支援
ありがとう
ございました！



認定NPO法人コミュニティ・サポートセンター神戸(CS神戸)



ごあいさつ

いつもCS神戸を応援いただき、ありがとうございます。CS神戸は、これまで機関紙『市民フロンティア』の中で、折に触れ事業報告を掲載してきましたが、この度1年間の活動をまとめてアニュアルレポートとして発行することになりました。初めての試みですので、まだ不十分なところもありますが、お手に取っていただければ幸いです。

2018年度は、次なる事業を展開する上での基盤固めができた1年でした。「3,000円以上の寄付者が年間100名以上」という基準を満たし、2013年度に取得した認定NPO法人の第一期を更新することができました。多くのステークホルダーの皆さんと活動をともに推進してきた証左です。

また、2018年度はNPO法制定20年の節目の年でもありました。県内第1号認証のNPO法人のひとつとして、NPO法人の社会的な立場について県内3地域で事前アンケートとフォーラムを実施。150ページにわたる報告書を発刊し、現状と課題を県内外に発信しました。事業面では、いくつかの新規事業にチャレンジした一方で、2001年度から管理運営を行ってきた東灘区民センター小ホールが児童館拡張のため2018年度末で事業が終了となるなど、大きな変化もありました。

人材育成事業では、本部と4つの拠点(ワラビー、生きがい活動ステーション、まちづくりスポット神戸、東灘区民センター小ホール)が連携しながら、それぞれの段階に応じた研修や講座を実施、多くの活動者やグループが生まれました。「コース・マーケティング研究会」と「シビックプラザ(仮称)研究会」ではいずれも外部委員の力をお借りし、幅広い視点を企画に盛り込み、事業化への道筋を確かなものにすることができました。2つの研究会他の事業でも地元企業との連携が進み、企業との協働のあり方を模索・試行した1年にもなりました。

ここに改めて御礼申し上げます。これからも「誰もが居場所と役割がある地域社会」を目指して、ご一緒に活動いただけることを楽しみにしています。



理事長 中村順子



事務局長 飛田敦子

ミッション 「自立と共生」を理念とした地域社会をめざし、自ら活動する人々を応援します。

2018 ANNUAL REPORT 2018年度事業報告書

●ごあいさつ	2
●2018年度Topics	3
●特集・CS神戸の人材育成スキーム	4
●2018年度事業報告	6
●2018年度ポートフォリオ	9
●2018年度決算報告	10
●2019年度 Topics	11
●役員・会員・寄付者一覧	12

2018年度Topics

その1

認定NPO法人を更新しました!

認定NPO法人を取得して5年が経過し、2018年度は更新手続きをおこなう初めての年でした。2017年度より準備をすすめ、無事7月2日に更新が認められました。

認定NPO法人の制度は、「寄付者・寄付額の割合」「適切な情報公開」「運営組織および事業活動が適正」等の一定条件をクリアしたNPO法人のみが認定され、税制控除等の優遇を受けて、資金面から活動の活性化を図るものです。翻れば、この厳しいプロセスこそ、公益に質する法人が通過すべき内容であり、組織力向上に直結していることを実感しています。



認定書交付式

その2

NPO法20年地域フォーラムを開催しました!

2018年度はNPO法制定から20年という節目の年となりました。この20年で出来たこと・出来なかったことを振り返り、今後の方向性を議論するため、事前アンケートとフォーラムを実施しました。主題は「つながりあう(共助)社会をつくるため、わたしたちができること」。兵庫県内を3つの地域に分け、NPO、行政、企業などのメンバーで、地域別の実行委員会を組織し、事前アンケートとフォーラムを実施しました。

また、アンケートとフォーラムでの議論をまとめた150ページの報告書もひょうごボランティアプラザと共同で発刊しました(HPからご覧いただけます)。



NPO法20年阪神・丹波・神戸フォーラム

その3

人材育成のプログラムをスキーム化しました!

近年活動の中心としてきた人材育成については、①導入、②学習、③実行、④評価の4つのステップを図式化し、系統だった研修プログラムとして整理しました。各プロジェクトが担当するステップと成果を明確にし、適宜連携しながらグループづくりおよびマッチングに努めました(詳細は④ページ参照)。

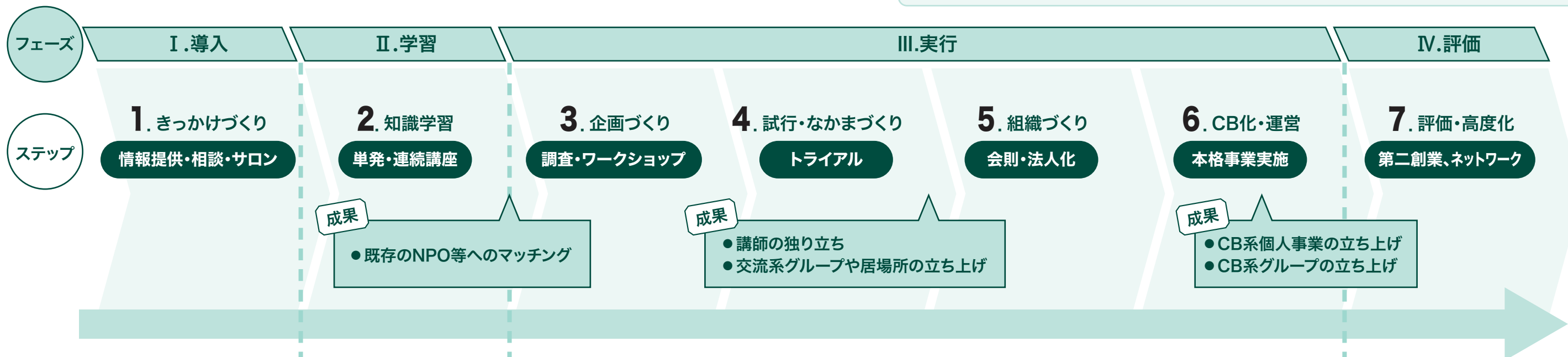
2018年度の実績と成果

実績	①新規相談者数	911名
	②講座数	184本
	③受講人数	3,296名
成果	④立ち上げ団体数	63団体
	⑤活動者数	759名

特集・CS神戸の人材育成スキーム

～ 4つのフェーズと7つのステップで活動を応援 ～

CS神戸では年間200本近い講座や研修を実施していますが、2018年度は事業横断的にそれらを抜き出して体系化しました。4つのフェーズと7つのステップを整理し、どの段階でどのような成果を目標にするのかを明確にしたのが以下の図です。各事業部の担当するステップがクリアになったほか、対外的にもCS神戸における人材育成の取り組みを示しやすくなりました。全体のスキームと10の具体的な研修をご紹介します。



『男のサロン』

「定年後の社会参加」などテーマを持ち寄りで交流しています。
(生きがい活動ステーション)



『社会貢献塾』

シニア層を主な対象にした3か月間の連続講座。座学・実践・地域調査を組み合わせ、多くの活動者が生まれました。
(法人本部)



『トライやるサポート』

講師体験や仲間集めなど、“やってみよう”を2回まで試せます。
(生きがい活動ステーション)



『NPOのつくりかた』

法人設立のための入門講座。他の法人格との違いなども解説しています。
(神戸市NPO法人設立運営相談窓口)



『グループリーダー研修』

ケーススタディを多用し、課題解決のためのアイデアを共有しました。
(神戸市生活支援・介護予防リーダー研修)



『まちそだてサロン』

生活に身近なテーマを取り上げ、学びと交流の場を提供しています。
(まちづくりスポット神戸)



『生活支援・介護予防サポーター養成研修』

神戸市3ブロックで地域の高齢者を支えるための実践的研修を実施しました。
(神戸市介護予防・サポーター養成研修)



『訪問助け合い活動研究会』

在宅の高齢者をサポートするグループづくりに取り組みました。
(法人本部)



『グリーンクルー』

商業施設の植栽管理を市民グループが担う仕組みをつくりました。
(まちづくりスポット神戸)



『居場所サミット』

毎年200名が集うサミット。情報交換やネットワーク構築の場です。
(居場所創出・運営支援事業)



2018年度事業報告

“ハタラク”をつくる

生きがいごととサポートセンター神戸東(ワラビー) 神戸市NPO法人設立・運営相談窓口事業

2018年度は年間2,882名の方と面談しました。就業に関しては、通路での求人情報の掲示に加え、「おしごと説明会」という求人情報について詳しく説明するサロンも始めました。起業相談においては、構想の整理から法人化まで多種多様な相談に応じています。また「ハタラクをつくる」をキーワードに、各事業所の補完的業務を数人のグループがシフトを組んで行う有償ボランティアの仕組み(プラチナワークと名付けました)をつくり、いくつかの事業所でトライアルを行いました。一人当たり週1日2時間程度の仕事なので、ライフスタイルを大きく変更することなく参加できると非常に好評でした。このほかにも在宅の生活支援を行うグループづくりなど、引き続き地域に密着した事業を支援していきます。



認定こども園でのプラチナワークの様子

地域活動を応援する草の根助成

市民活動サポート基金

CS神戸が1996年に独自に設置した基金で、毎年度2月末時点までにいただいた賛助会費の8割を繰り入れ、他のNPOを支援するための助成金として活用しています。資金面だけでなく、申請書の作成から成果発表までのプロセスを通じて活動全般をサポートしています。2018年度は5団体に550,000円を助成しました。23年間の累計は138団体、総額4023万円となりました。

■2018年度助成先一覧

団体名／事業名	助成額
NPO法人インクルひろば／インクルカフェの運営	200,000円
アテンドハッピー・中央／高齢者施設でのサポート事業	50,000円
アテンドクルーあずさ／高齢者施設でのサポート事業	50,000円
神戸いたやどばあちゃん／神戸いたやどばあちゃん屋根改修工事	200,000円
エンゼルス／天使のうたごえ喫茶・天使の居場所の運営	50,000円
合計	550,000円

市民目線の施設評価

介護保険地域密着型サービス第三者評価事業

CS神戸は兵庫県から認証を受け、「地域密着型サービス事業所(認知症対応型共同生活介護事業所)」の評価機関となっています。

CS神戸が実施する評価事業は高齢者介護施設の職員を応援する姿勢と市民目線に基づき、丁寧な内容の評価と独自様式の報告書提出を行ない、好評を得ています。2018年度は新人評価員3人が加わり、前年度の倍近い23件(グループホーム22件・小規模多機能型居宅介護1件)の評価を受託しました。2019年度も研修会などで評価員相互の研鑽と情報交流を進め、CS神戸らしい特色のある質の高い評価を維持し続ける計画です。

社会課題に企業とチャレンジ

NPOと企業のより良い連携のあり方を研究する当事業では、実践のひとつとして「地域活動応援自販機」の設置をすすめています。2018年度は、新たに商船港運(株)と日本郵船(株)に2台導入いただき、合計5台となりました。

初年度となる応援先の決定に向けて、選定基準や審査会実施要領の作成等を行い、2月1日に初めての審査会を開催しました。日本政策金融公庫、ダイドー・ドリンコ(株)、九州大学、CS神戸から5人の審査員が審査に当たり、子育て支援団体「のびのびひろば」と外国人支援団体「親子ベトナム教室」の2団体に、30,000円ずつの応援金を2年間に渡って支給することが決定しました。



コース・マーケティング研究会

■協力企業・団体

	大和リース株式会社 設置場所：神戸市垂水区
	有限会社 神輝興産 設置場所：神戸市灘区
	商船港運株式会社 設置場所：神戸市中央区
	株式会社シカタ 設置場所：加西市
	日本郵船株式会社 設置場所：神戸市東灘区

居場所と役割があるまちへ

昨年度に引き続き福祉医療機構から助成を得て実施しました。立ち上げ支援講座では、「一般コース」と「お寺で居場所コース」を開催、9か所の居場所が新たに立ち上がり、5か所が開設準備に入っています。運営支援では、毎年恒例の居場所サミットを開催、86団体217名が参加しました。また兵庫県立大学と協働し「居場所利用者実態調査」を実施。市内24か所・504名の利用者に対してアンケート調査し、年齢、性別、居場所までの所要時間、使う費用、生活の変化など、居場所利用の現状と効能を定量的なデータとしてまとめました。



「お寺で居場所コース」修了生の皆さん

地域に愛される見守りステーション

JR住吉駅前駐輪場管理運営事業

昨年8月スタートの「子育て世帯支援の利用料減免」の新サービスは、延べ利用台数32,000台を数え対応も含め高評価をえています。新人研修・休憩サポート・業務引継ぎの各シフト新設し、働き方の改善を通して業務効率化を図り利用者サービスの向上につなげました。利用者満足度調査は総合点79.5%(前年4%UP)と神戸市平均を上回りました。

認知症サポーター研修を行い新たにスタッフ5名がオレンジリングを取得。春秋には障がい者支援団体と協働で駅前清掃の有償ボランティア活動、障がい者団体、駅前商店、地域団体などと連携した駅前クリーンキャンペーンも継続し、延べ障がい者ボランティア参加数は660人(前年6%UP)を数えています。駅前での地域見守りの眼となる拠点として住民と連携し、駐輪場の管理運営事業に加えて、地域貢献活動も続けています。



駅前花壇のお手入れ



中学生トライ・やるウィークの受け入れ

地域と文化の交流拠点

コミュニティ支援事業として①貸館事業、②地域文化活性化事業、③自主事業、④ひがしなだ区民カレッジなどの事業を行いました。特に障がいの有無に関わらず多様な人が参加するコラボイベントで交流や創作が生まれる場づくりや地域の防災力を上げる取り組みなどに注力しました。残念なことに、神戸市指定管理事業である当ホールは2019年度には学童保育の対象を小学校6年生まで拡大するため、小ホール(3階)を児童館として使用できるようにしてほしいとの要望があり、当ホールを廃止し、既存児童館(1階)の拡張スペースとして転用されることになりました。

東灘区民センター小ホール



防災イベントの様子

商業施設で生まれる新しいコミュニティ

大和リース(株)と協働で運営しているまちづくりスポット神戸は5年目に入りました。新規事業としてBRANCH神戸学園都市の植栽管理および高塚山の在来種保護やシニア層の生きがいづくりを目的とした「グリーンクルー事業」、外出支援を必要とする高齢者に向けた「買い物サポート事業」に取り組みました。また、登録団体は農と食に関する団体や社会貢献活動を行う産婦人科など新たな分野での新規登録15団体を含む77団体となりました。

登録団体の一般社団法人Babyガーデンが「小規模保育所 あんよ」をBRANCH内に開設したことは、待機児童問題の解決や女性の就業の場として、「欲しいサービスは自分たちの手で」を実践するロールモデルとなりました。

まちづくりスポット神戸



ままスポ会議

「人」と「地域」の縁結び

■ 生きがい活動ステーションは(公財)神戸いきいき勤労財団との協働で2014年6月に六甲道勤労市民センターロビーに開設され、4年目を迎えました。

2018年度の情報提供者は9,865人、相談件数は3,626件、うち新規で登録された方は411人で、「知人の紹介」をきっかけに知ったという方が増加しており、近隣地域で浸透してきたことが実感できる1年となりました。

また、2018年度は灘区で居場所を運営されている方々の交流会、兵庫勤労市民センターロビーでの「ひょうご茶話サロン」、有限会社神輝興産との企業コラボサロンなど、新規のサロンを開拓し、量・質ともに多様なつながりが生まれました。

生きがい活動ステーション



ひょうご茶話サロン

講師派遣の実績 計61件 91回

行政・外郭団体	神戸市シルバーカレッジ／鳥取県／岡山市社会福祉協議会／シニアCITYカレッジ／兵庫県青少年本部 加古川市社会福祉協議会／兵庫県／ひょうごふるさと創生塾／七尾市／福祉医療機構 神戸市社会福祉協議会／こうべすまいまちづくり公社／神戸北町あんしんすこやかセンター
NPO・地域団体等	アートサポートセンター／シニア自然大学校／豊能町老人クラブ連合会／日本NPOセンター 広島市老人クラブ連合会／さわやか福祉財団／シニアワークセンターとよなか／被災地NGO協働センター 大阪ボランティア協会／NPO法人市民事務局かわにし／ひょうご市民活動協議会／阪神医療生協 NPO法人サニーサイド／NPO法人しゃらく／認定NPO法人とす市民活動ネットワーク
企 業	日本山村硝子(株)
教育機関	神戸学院大学／兵庫県立大学／甲南女子大学／御影高等学校／立命館大学／神戸大学／神戸国際大学 龍谷大学／追手門学院大学／神戸芸術工科大学
マスコミ	NHK

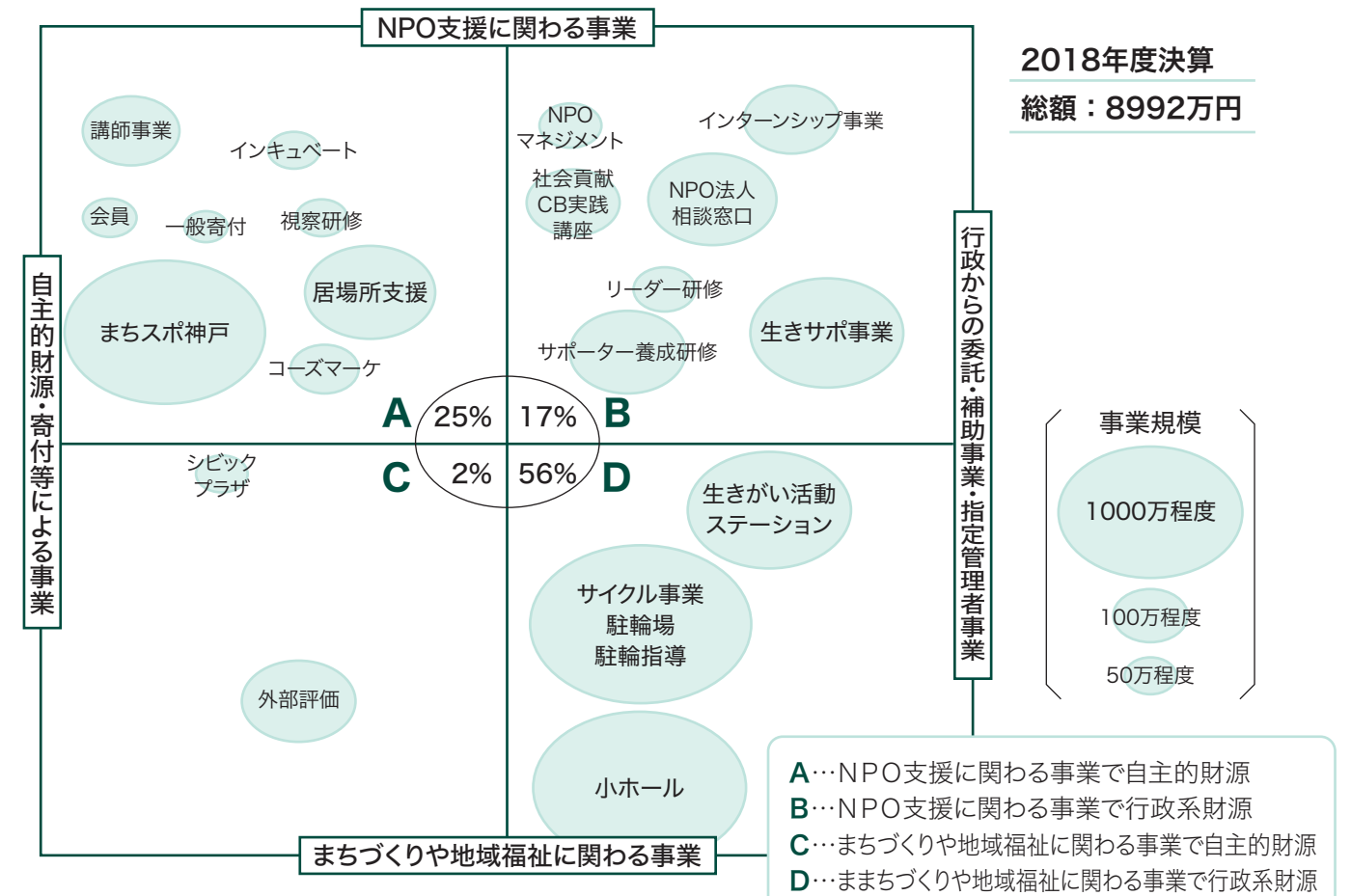
※他、委員会への就任多数

視察・インターン受入の実績 計21件 119名

行政・外郭団体	松江市社会福祉協議会／トルコ共和国大使館／善通寺市社会福祉協議会／横浜市／盛岡市まちづくり研究所
N P O	NPO会計支援センター／NPO法人九州コミュニティ研究所
企 業	(株)遠鉄百貨店／天満屋百貨店／大阪同和・人権問題企業連絡会／大和リース(株)／Pleasure Support(株) (株)地域計画建築研究所／ネスレ日本(株)
教育機関	大阪大学／早稲田大学／兵庫県立大学大学院／神戸学院大学

2018年度ポートフォリオ

CS神戸では事業の種類および収入源を軸に、毎年ポートフォリオ(事業構成図)を作成しています。経年比較することで、事業の推移やバランスを俯瞰的に把握しやすくなりました。



2018年度決算報告

※2019年3月31日現在

貸借対照表

資産の部		負債の部	
1.流動資産	64,130,915	1.流動負債	9,101,483
(1)現金・預金	59,373,523		
(2)その他流動資産	4,757,392	負債合計	9,101,483
2.固定資産	19,642,004	正味財産の部	
(1)有形固定資産	1,122,184	前期繰越正味財産	73,358,608
(2)無形固定資産	275,960	当期正味財産増減	1,312,828
(3)投資その他の資産	18,243,860		
		正味財産合計	74,671,436
資産合計	83,772,919	負債及び正味財産合計	83,772,919

活動計算書

科 目		金額(単位:円)		
Ⅰ 経常収益				
1.受取会費	正会員費	190,000		
	賛助会費	388,000	578,000	
2.受取寄付金	役員	1,108,237		
	スタッフ	113,687		
	一般	11,307,774	12,529,698	
3.受取助成金等			14,268,000	
4.事業収入	市民活動支援部	12,164,424		
	地域活動事業部	49,858,195	62,022,619	
5.その他収益	雑収・雑益	523,319		
	受取利息	1,831	525,150	
経常収益計				89,923,467
Ⅱ 経常費用				
1.事業費	(1)人件費	43,410,039		
	(2)その他経費	28,819,256	72,229,295	
2.管理費	(1)人件費	7,929,877		
	(2)その他経費	8,451,467	16,381,344	
経常費用計				88,610,639
当期正味財産増減額				1,312,828
前期繰越正味財産額				73,358,608
次期繰越正味財産額				74,671,436

いずれも概要版です。詳細版はCS神戸のHPに掲載しています。

2019年度Topics

2019年度は阪神・淡路大震災から25年目の節目の年となります。震災時の教訓としても刻まれた「自立と共生」というCS神戸のミッションを強く意識して、すべての事業に当たります。新たに取り組む事業は以下の3つです。

1. シビックプラザ(仮称)建設・運営事業

新たなコミュニティ支援の場として、神戸市東部の都市公園内に「地域共生拠点・シビックプラザ(仮称)」を建設し、コミュニティ・ビジネスの集積地を目指します。多様な人の交流の場、学びのアウトプットの場、新たな事業の試行・実践の場、企業のCSVを実現する場として活用予定です。

2. 神戸市コミュニティ相談センター運営事業

神戸市自治会連絡協議会より委託を受け、自治会を主とした地域団体との協働事業をスタートさせます。地域団体とNPOの多層的な地域コミュニティの在り方を模索しつつ、これまで接点のなかった市民層へのアプローチで新たな地域活動に携わる人材育成に取り組みます。

3. 神戸市予約図書受取コーナー運営事業

まちづくりスポット神戸の新規事業として、8月からBRANCH神戸学園都市に新設される予約図書受取コーナーの運営を始めます。委託事業である本事業を軌道に乗せるとともに、CS神戸の占有スペース(30㎡)を活かして、文化・図書コミュニティにおける人材育成や独自事業を実施します。

2019年度組織図

